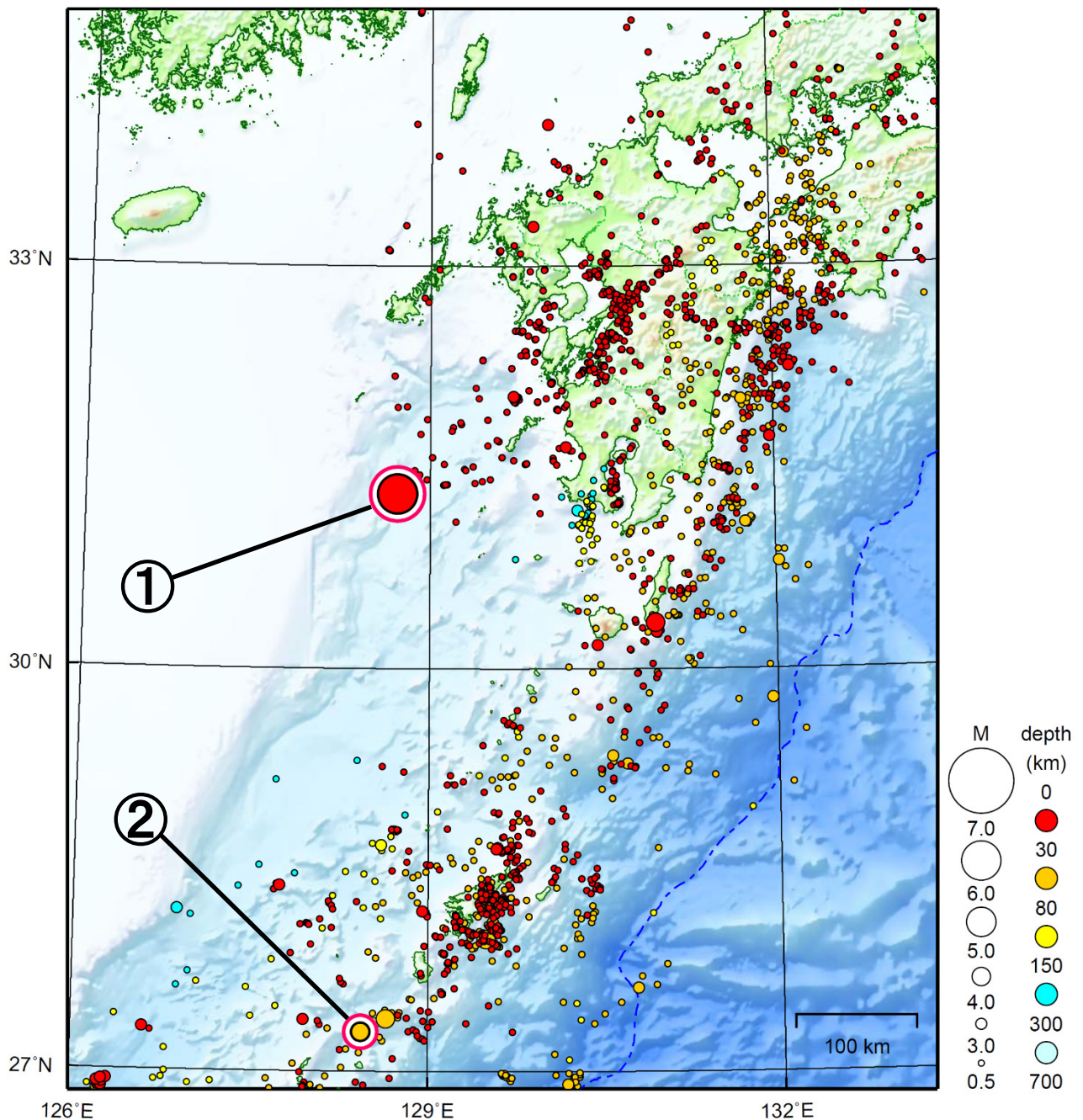


# 九州地方

2020/05/01 00:00 ~ 2020/05/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 5月3日に薩摩半島西方沖でM6.2の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 5月23日に沖縄本島近海（沖永良部島付近）でM4.9の地震（最大震度4）が発生した。
- （上記期間外）
- 6月1日に薩摩半島西方沖でM4.3の地震（最大震度4）が発生した。

〔上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸地でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

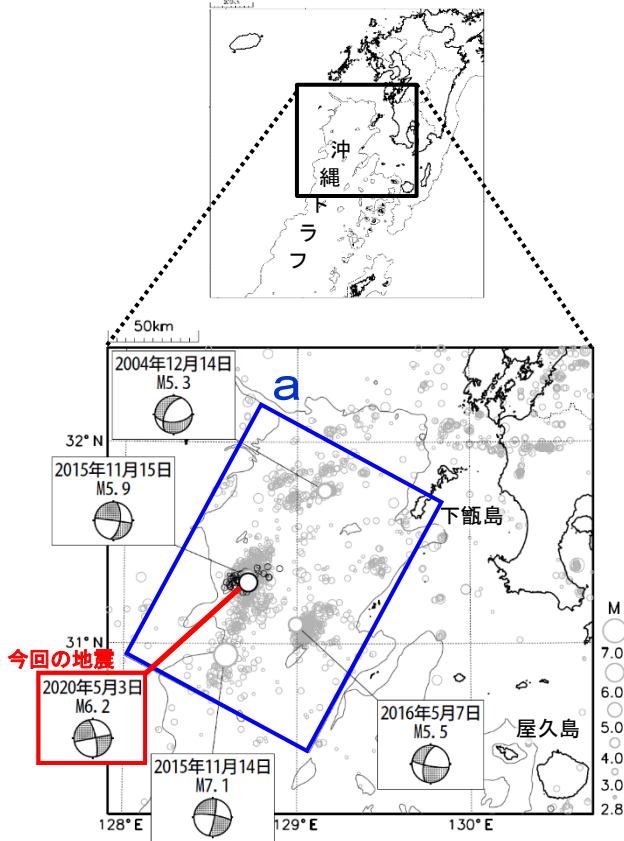
気象庁・文部科学省

## 5月3日 薩摩半島西方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年5月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.8$ )

2020年5月の地震を濃く表示、図中の発震機構解はCMT解、図中の細線は水深500mを示す

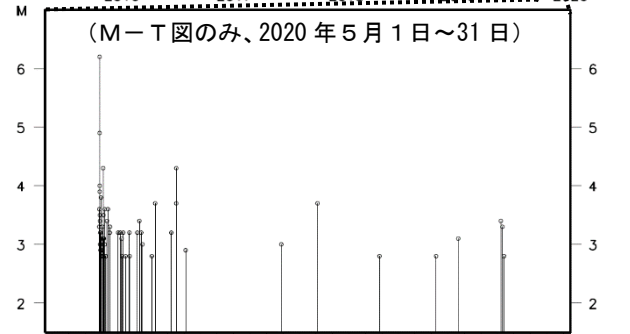
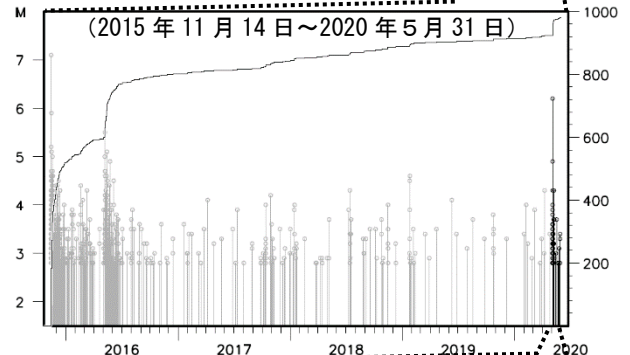
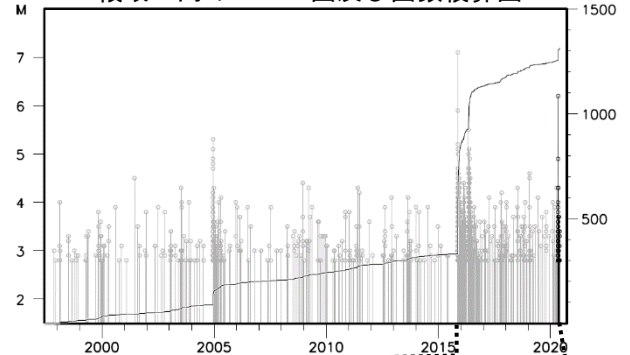


2020年5月3日20時54分に薩摩半島西方沖の深さ10km (CMT解による) でM6.2の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である。この地震の後、1週間程度やや活発な地震活動が見られた。

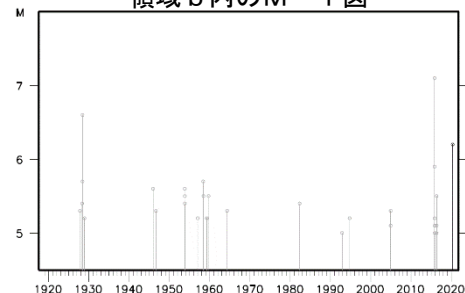
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M4.0以上の地震が時々発生している。2015年11月14日にはM7.1の地震 (最大震度4) が発生し、鹿児島県の中之島 (海上保安庁) で30cmの津波を観測している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動周辺 (領域b) では、1928年6月3日にM6.6の地震 (最大震度5) が発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



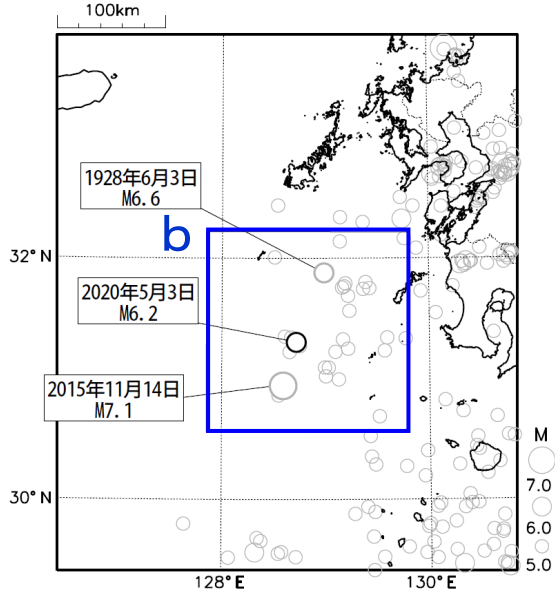
領域b内のM-T図



震央分布図

(1919年1月1日～2020年5月31日、  
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$ )

2020年5月の地震を濃く表示



## 5月23日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震

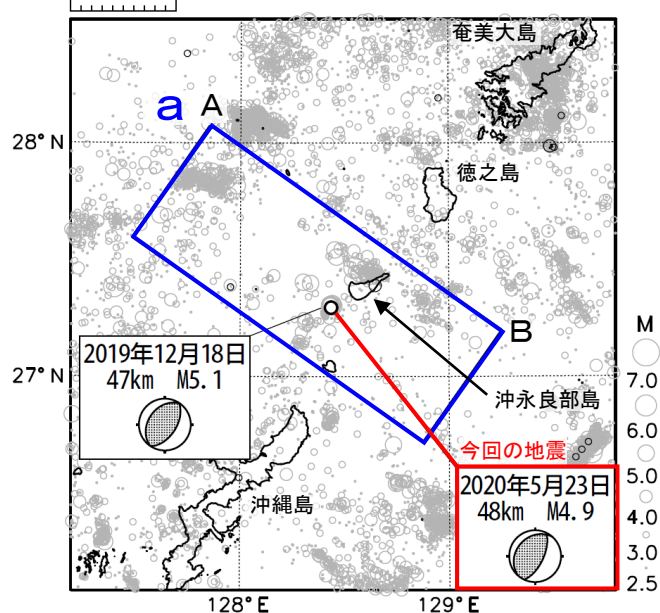
震央分布図

(1994年10月1日～2020年5月31日)

深さ0～150km、M $\geq$ 2.5

2020年5月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解



2020年5月23日04時33分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ48kmでM4.9の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM5.0以上の地震が時々発生しており、最近では2019年12月18日にM5.1の地震（最大震度4）が発生している。

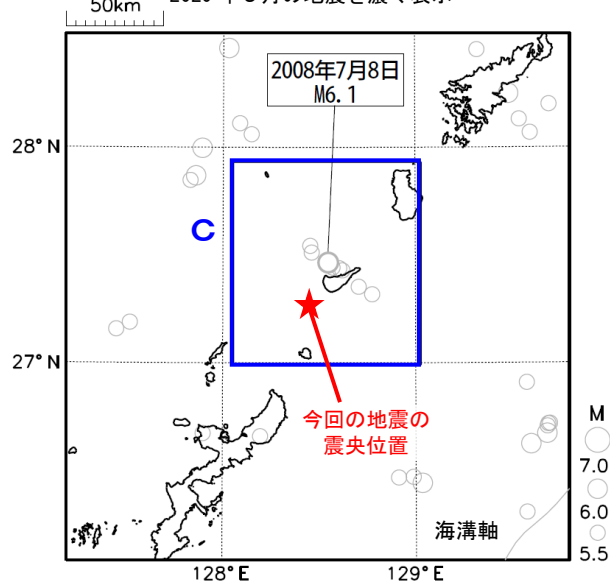
1973年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、2008年7月8日にM6.1の地震（最大震度5弱）が発生し、鹿児島県与論町（与論島）のホテルの壁の一部破損や柱の石膏ボード破損の被害が生じた（総務省消防庁による）。

震央分布図

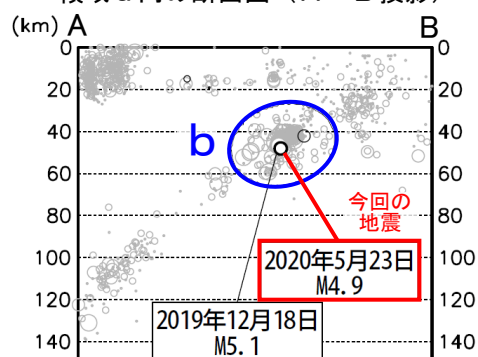
(1973年1月15日～2020年5月31日、

深さ0～90km、M $\geq$ 5.5)

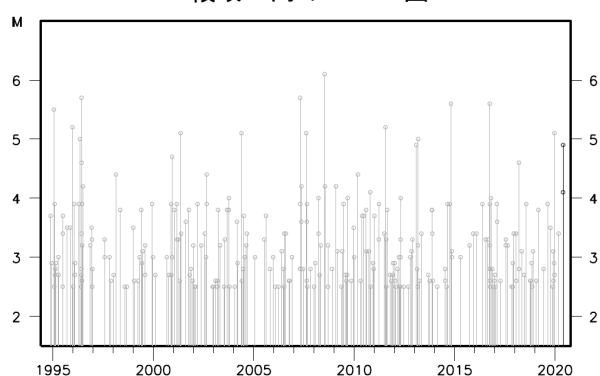
2020年5月の地震を濃く表示



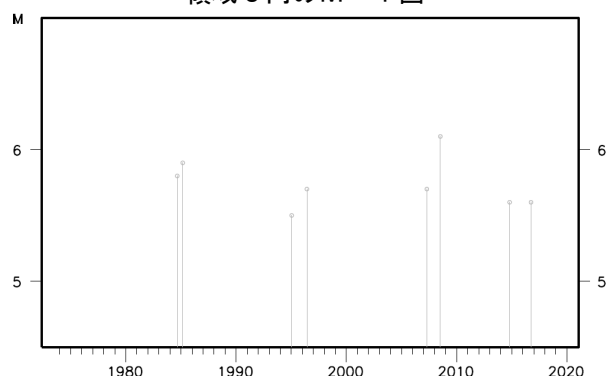
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図

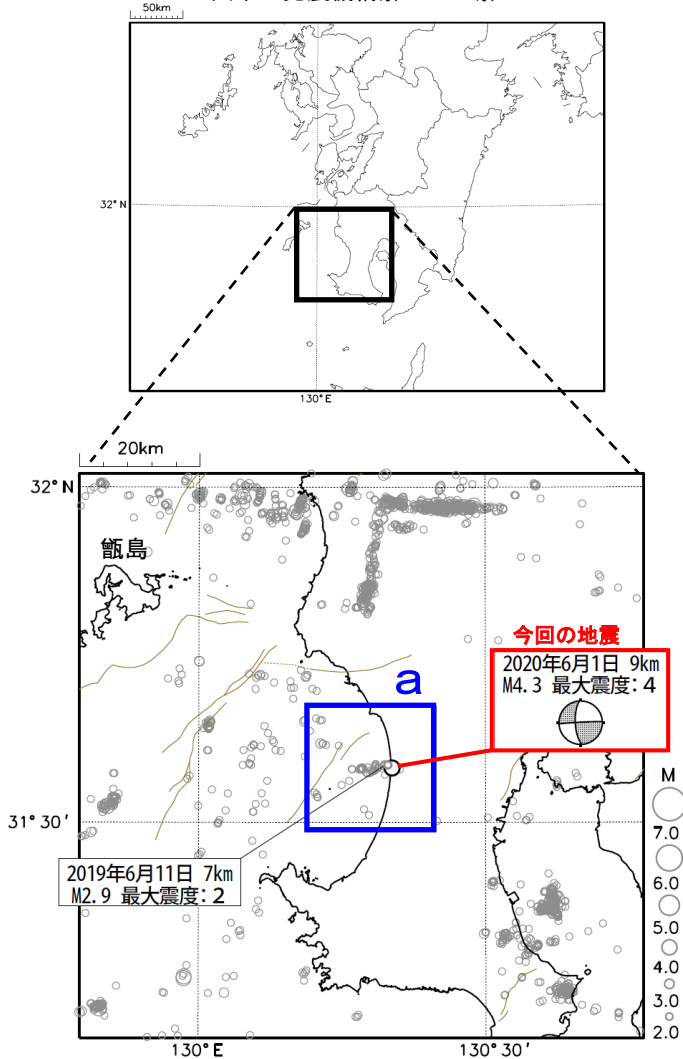


領域c内のM-T図



## 6月1日 薩摩半島西方沖の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2020年6月2日、  
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ )  
2020年6月の地震を濃く表示、  
図中の発震機構解はCMT解

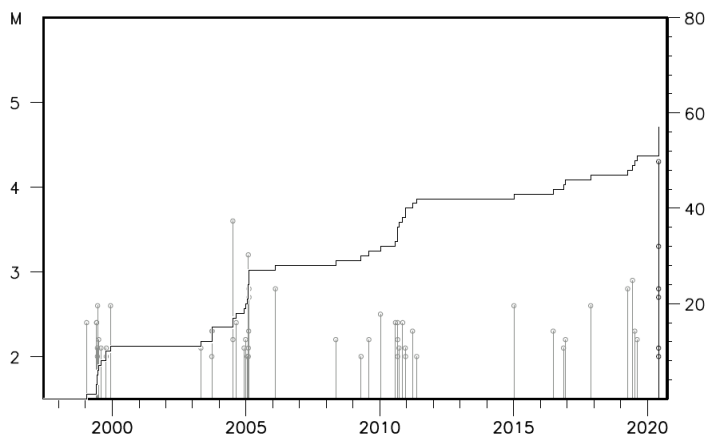


2020年6月1日09時33分に薩摩半島西方沖の深さ9kmで $M 4.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

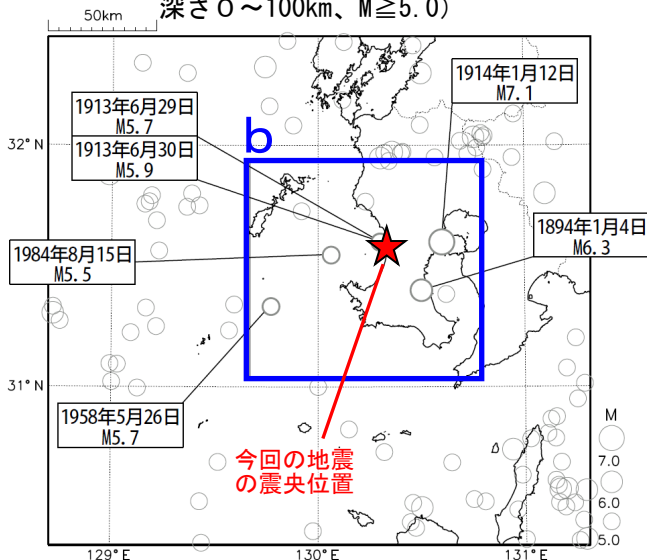
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、 $M 4.0$ 以上の地震は発生していなかった。近年では2019年6月11日に $M 2.9$ の地震（最大震度2）が発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では $M 5.5$ 以上の地震が6回発生している。1913年6月29日には $M 5.7$ の地震が発生し、がけ崩れの被害が生じた。また、翌30日には $M 5.9$ の地震が発生し、山崩れ、家屋倒潰1などの被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

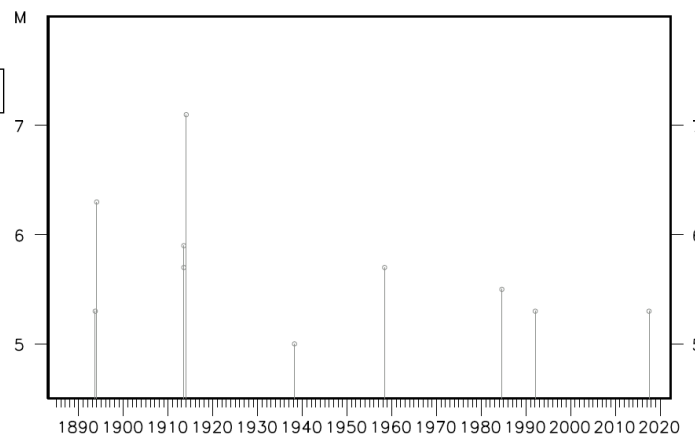
領域a内のM－T図及び回数積算図



震央分布図  
(1885年1月1日～2020年6月2日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )



領域b内のM－T図



気象庁作成